

直轄管理事業「濃尾用水地区(犬山頭首工)」について

犬山頭首工では、犬山頭首工管理規程に基づき、各ゲートの操作、監視を24時間体制で行っており、頭首工本川ゲートを操作して、頭首工上流水位をEL37.00～37.10mの間に保ち（平水時）、取水に必要な水位を確保するとともに、分水ゲートを操作して取水量を調節し、各用水に適正な水量を送水しています。

取水量は、左岸取水口と右岸取水口の合計でかんがい期（3月26日から10月15日まで）最大51.06m³/s、非かんがい期（10月16日から翌3月25日まで）1.13m³/sを取水しています。

1. 施設の点検・整備のための落水・堰上げについて

落水は、令和2年10月19～20日の2日間で、頭首工上流や下流の安全確認を行いながら、頭首工上流水位を約2m低下させました。

落水後の10月21～28日の8日間は、平水時にできない頭首工本体や取水施設等の点検・整備を行いました。

堰上げは、10月29～30日の2日間で、頭首工上流や下流の安全確認を行いながら、頭首工上流水位を約2m上昇させ、平水時の管理水位に戻して取水を再開しています。

2. 施設の点検・整備の様子



犬山頭首工 上流水位計（フロート式）
堆砂した土砂などの清掃



左岸分水工（パーシャルフリューム式）
水路底部や水路側壁の清掃



犬山頭首工 洪水吐ゲート（上流側）の目視確認



左岸幹線水路 魚類保護の様子

国営施設機能保全事業「中勢用水地区」について

1. 地区概要について

本地区は、三重県の中央部に位置する津市、亀山市にまたがる受益面積3,183haの農業地帯です。

本事業は、前歴事業である国営中勢用水土地改良事業（昭和47年度～平成2年度）により造成された農業水利施設である安濃ダム、第三頭首工及び用水路等の機能を長期にわたり保全するため、平成24年度に着手されました。

これまでに、安濃ダム堆砂対策のためダム上流部に貯砂堰堤2基を造成し、堆積土砂の搬出を開始するとともに、用水路の補修や水管理施設の更新、第三頭首工の補修等を行ってきました。



2. 令和2年度事業実施内容について

令和2年度も、引き続き安濃ダムの堆積土砂の搬出やダム洪水放流非常用ゲートの据付を行うとともに、取水設備や放流警報設備等の更新・整備を行っています。

安濃ダム堆砂対策

ダム湖内での堆積土砂の掘削・搬出

盛土場

ダム洪水放流警報施設の整備

ダム洪水放流非常用ゲート及び取水施設の整備

警報局(第12局)

取水設備

洪水放流非常用ゲート